

(様式3)

会議の開催結果について

1 会議名	第3回河内長野市廃棄物減量等推進審議会
2 開催日時	令和5年 5月17日(水) 午前9時30分～10時45分
3 開催場所	市役所5階 501会議室
4 会議の概要	<ol style="list-style-type: none">1. 前回審議会における議論の主な意見と整理について2. 本市のごみ収集等における現状と課題に対する市の考え方について<ol style="list-style-type: none">(1) ごみ収集等における現状と課題について(2) ごみ出し、ごみ収集における地域の課題に対する市の考え方について3. 委員質疑4. その他
5 公開・非公開の別(理由)	公開
6 傍聴人数	1名
7 問い合わせ先	(担当課名) 環境経済部環境衛生課資源循環係 (内線407)
8 その他	

第3回河内長野市廃棄物減量等推進審議会 議事録

1. 開催日時等

- ・日時：令和5年5月17日（水）午前9時30分～午前10時45分
- ・場所：市役所5階 501会議室

2. 委員等出席者（敬称略）

- ・委員：久 隆浩（会長）、金子 泰純（副会長）、山元真里、玉崎 和実、岸 久子
鈴木 幸子、峯山 建道、平 美輝、田嶋 聖子、浅川 浩
（欠席委員：天川 麻子、樋井 悠好）
- ・事務局：環境経済部理事 藤川、環境衛生課長 吉川、環境衛生課課長補佐 竹内、
環境衛生課主幹 岩井、（㈱地域計画建築研究所 齋藤主査

3. 開催結果

久会長：本日は、「1. 前回審議会における議論の主な意見と整理について」及び「2. 本市のごみ収集等における現状と課題に対する市の考え方について」について、一括して事務局にご説明いただき、その後、「3. 委員質疑」に移らせていただきたい。

事務局：説明の前に、審議会の目的と本日の審議の目標・ご議論いただきたい点を共有させていただく。

この審議会の目的は、今後の本市の家庭ごみ収集方式の「方向性」について、ご審議いただくことである。「家庭ごみ収集方式についての方向性」については、これまでの調査検討の結果や、委員の皆様からの様々なご意見をもとに、事務局で整理した内容をお示しさせていただく。

本日の「審議の目標」、「議論いただく内容」としては、事務局として今回整理したアプローチに基づいて、今後、個々の施策の展開に取り組んでいきたいと考えている。その大きな方向性について、委員の皆様のお立場からご確認いただき、支障がないかご意見をいただきたい。

「方向性」について、ご了承をいただければ、資料3のスケジュールを参考に、答申に向けた準備を進めたいと考えている。

< 議案 >

1. 前回審議会における議論の主な意見と整理について

2. 本市のごみ収集等における現状と課題に対する市の考え方について

資料1 第2回河内長野市廃棄物減量等推進審議会での主な意見と市の考え方

資料2 ごみ出し・収集に係る地域の課題に対する市の考え方について

資料3 今後のスケジュール想定

【事務局より資料説明】

3. 委員質疑

久会長：資料2に整理された方向性が示されている。市から戸別収集の可能性を本審議会に提示されたが、これまでの検討・審議により、全市での戸別収集には課題が多く、導入が難しいことから今後もステーション方式を継続する、というのがこれまでの審議で整理された考えであると思う。しかしながら、ステーション方式にも様々な課題があるため、解決方策の検討も同時に必要である。

特にステーションまでごみを持って行けない方について、ふれあい収集の拡充が必要であるというのが委員の一致するところであるので、対応をお願いしたい。

また、共働きや夜勤等でごみ出しの時間帯が合わない等でごみステーションの利用が出来ない方について、別途収集できる箇所等の検討も必要である。

その他コミュニティでの解決が必要な課題については、市からの支援が必要である。市内外のコミュニティでの創意工夫事例の情報提供や、相談や斡旋等で地域と支援団体などを繋いでいただき、市民自らが解決できるような支援をしていただきたい、この方向性や内容等について、ご意見があればいただければと思う。この方向性でよければ答申案をまとめていきたいと思うがよいか。

会場：了承

金子副会長：方向性は良いと思う。施策候補の中では資料2に記載されているステーション分割は非常に良い取り組みである。挙げられている施策候補の中でも、どの施策を優先して実施するのか、優先順位についても十分検討して欲しい。

山元委員：私もステーションの分割は良いと思う。費用面は少し気になるが、ごみステーションが近くにあれば自分で出せる方に対しての取組として、一番分かりやすい。結果的には戸別収集に近くなるので、可能であればとても良い方法である。

久会長：山元委員のご意見は今後大変重要になって来るが、市も時間をかけて制度設計をする必要がある。今の時点では整理が難しいと思うので、制度設計が見えた段階で、審議会を開くか、個別に情報提供するか、いずれかでご意見をいただければと思う。

金子副会長：市が管理する公設ごみステーションは、どのような運用を想定しているのか。他都市事例では焼却場や平日の日中のみの運用になっており、本当に利用しやすいのか。細かい要件や内容については今回議論することではないと分かっているが、これについては慎重な検討を要する事項ではないか。

また、違反ごみなど収集されないごみについては、ステーション管理において度々問題になることがある。

一般家庭で消費されたものは、基本的には一般廃棄物であり、市に収集の責務がある。コンクリートブロック、殺虫剤、ペンキの溶剤など一般家庭で普通に使われているもので収集対象外となっているものを悪気なくステーションに出してしまう人もいる。それがステーション管理の難しさにつながっている。公設ごみステーションでは、そういうものこそ引き受けるべきではないか。検討課題としてほしい。

いずれにしても公設ごみステーションについては、場所や利用時間帯など、検討すべきことが多く、扱いなどについては慎重に進める必要がある。

久会長：資料としては、自治会未加入者に特定せず、地域のごみステーション利用ができない人とすべき。

地域のごみステーションを利用できない状況とは、人の問題だけではなく、ステーションに持ち込めないごみ自体の問題もある。ステーションに出せない人は、直接処理場に持ち込まなくてはならないが、近くに公設ごみステーションがあれば解決できるのかという整理も必要かと思う。設置場所や運営方法など、事務局はどう考えているのか。

事務局：公設ごみステーションについては、市の資源選別作業所を検討している。工業団地の中にあり、周辺に住居が少ないため、周辺住民とのトラブルが少ないことが予測でき、24時間対応が可能であると考えている。

資源選別作業所には、日中であれば職員が1名常駐しているが、その他の時間帯については、電子キー式の門扉などを設置し、スマホやICカードで開錠するなど利用できるようにしたい。当初は市内1か所で考えている。需要を見て、追加設置するかどうかを考える。

一般廃棄物は、市の責務で収集処分する必要があるため、スプリングマットレスやブロックなど、収集できないごみの対応を検討する必要があるかも知れない。

久会長：公設ごみステーション設置場所については、具体的に候補地の提示があった。

現在、ふれあい収集は高齢で要介護認定になっているが、それ以外の様々な事情によりごみ出しが困難な方もいるため、多様な要件を視野に入れて検討いただきたい。本日いただいたご意見を踏まえ、この方向性で、答申案をまとめるということで良いか。

会場：了承

事務局：本日の内容を踏まえて久会長と調整の上、答申案の作成を進め、改めて委員のみなさまにご確認いただいた上で、最終答申案のとりまとめを行いたい。

久会長：ほかに何かご意見があれば。

金子副会長：次回の審議会は答申で、答申案については事前にお送りいただく事で良いかと思う。

会場：了承

4. その他

久会長：今までの審議の内容以外でも良いので、何かご意見等はないか。

平委員：この一か月の間に3回カラスにステーションを荒らされた。ごみ当番の方が勤務形態の都合で片づけられなかったので、3回とも私が片付けをした。カラスは賢いので自治会で購入したごみネットだけではカラス対策は難しい。補助の検討もしていただけるようだが、従来のごみネットだけではカラスに対応しきれていないのが現状である。何かカラス対策の良い方法はないか、お知恵をお借りしたい。

玉崎委員：ごみネットを大きめにすると良い。利用者がごみを入れた後にきっちり抑えられれば、比較的大丈夫である。

久会長：何か好事例はあるか。

アルパック齋藤：ブルーシートは効果があるが、汚れや匂いがつく。金属製の折りたためるガードなどもある。

金子副会長：ネットだけではなく生ごみガードもある。富田林市のような補助制度については、市としても検討しても良いと思う。鉄製は重く錆びるので、集合住宅ではアルミ製のものを備える所が多くなってきている。

私が住んでいる地域でも自治会費で買ったことがある。正月明けなどごみが多い時は、これに入りきれないことがあるため、結局利用者ひとりひとりのマナーが重要である。

久会長：富田林市の補助について、状況や予算規模を確認して欲しい。

事務局：富田林市では、年間予算20～30万円程度で、本市でも対応可能な範囲であると思っている。消耗品以外は、本市でも自治協働課の自治会活動環境整備事業補助金で対応しており、1/2補助で上限30万円となっている。カラスネットなど消耗品については新たに環境衛生課で、備品的なものについては従前の自治協働課で、連携を取りながら実施を検討したいと考えている。

久会長：このようなお困りごとについては、市役所の方でも随時ご相談に乗っていただけると思う。

他に何かないか。

事務局：次回の会議日程については決まり次第ご連絡させていただく。

久会長：今回は答申となっておりますので、よろしく願いしたい。

それでは、本日の審議会はこれで終了する。ありがとうございました。

以上